

2017年1月19日

北興化学工業株式会社

## 当社取締役会の実効性評価の結果について

このたび、コーポレートガバナンスの実効性を高めるための取り組みの一環として、取締役会運営の改善等に資する目的で、2016年度の実効性評価を実施しましたので、その概要をお知らせいたします。

### 1. 評価の方法

- ・取締役・監査役に対して、評価の主旨等を説明のうえ自己評価アンケートを配布し、全員からの回答により得られた意見等に基づき、分析・評価を実施いたしました。
- ・評価を実施した項目
  - 取締役会の構成
  - 取締役会の運営
  - 取締役会による監督
  - 株主との関係
  - 社外役員に対する情報
  - 前事業年度からの改善状況
  - 情報入手に関する支援体制
  - 知識・知見向上に関する体制
  - その他

注) ○=今回新たに質問を加えた項目、●=前年と同じ質問項目

### 2. 評価結果の概要

- ・取締役会の構成について、現在の事業内容や規模からすれば適正であるものの、将来の事業展開に応じて多様性についての検討も必要との意見がありました。
- ・取締役会の運営について、一部に審議の充実に向けた工夫が必要との意見や、知識・知見の向上に向け、役員向け研修の体系化や研修機会の設定等に一層の工夫が望まれるとの意見がありました。
- ・全体を通じた評価としましては、取締役会は、審議や意思決定における十分性・迅速性および監督機能の発揮といった観点で適切な規模・構成であること、当社グループに関連する情報提供の充実という前回課題への取り組みも行われ改善が見られること、また、株主の権利行使のための体制等に大きな問題はないことなどから、取締役会の実効性は概ね確保されていると判断します。

### 3. 評価により認識した課題と対応

前回の評価により認められた課題の改善に向けた取組みは、一定の効果があったとの認識の下、前回の課題について今後も継続して取り組んでまいります。

(課題)

- ・取締役・監査役に対する当社グループに関連する情報提供の更なる充実と、それを基にした取締役会における審議の充実

(対応)

- ・当社グループおよび業界の動向等について、定期的な説明会の継続を実施するなど、当社グループに対する理解を一層深め、そうした取組みによる取締役・監査役間の情報共有をベースに、取締役会における審議の充実を図ってまいります。

以上